

こみゆにていばす どうにゆう そくしん ふくし かんこう こうじょう コミュニティバス導入の促進（福祉と観光の向上）

しないたく こみゆにていばす じょうきょう 市内他区のコミュニティバスの状況

<p>めいしょう 名称</p>	<p>の がわみなみだいこみゆにていばす かながわけんかわさきしみやまえく 野川南台コミュニティバス(神奈川県川崎市宮前区)</p>
<p>はいけい がいよう 背景・概要</p>	<p>やく ねんまえ かんせい けんえい の がわみなみだいだんち にゆうきよしや こうれいか すす たてもの ・約40年前に完成した県営野川南台団地の入居者の高齢化が進んでいること、建物が たかだい りっち きふく はげ こうれい じゅうみん がいゆつ 高台に立地しており起伏が激しいことから、高齢になった住民には、外出しにくい じょうきょう 状況になっていた。</p> <p>へいせい ねん けんえい の がわみなみだいだんち じち かい ちゅうしん みなみだいこみゆにていこうつう ・そこで、平成17年、県営野川南台団地自治会が中心となり「南台コミュニティ交通 どうにゆうすいしんきょうぎかい せつりつ こみゆにていこうつう どうにゆう めざし きょうせいきょうどう とく 導入推進協議会」を設立。コミュニティ交通の導入を目指し、行政と協働で取り組みを すたーと けいたい ろせんばす の あ たくしー うんこう けんとう うんこう スタートさせた。形態は、路線バスや乗り合いタクシーの運行も検討されたが、運行の かんきょう さいさん あ はんたん じぞくせい じゅうし じち かい じしゅうんこう せんたく 環境や採算が合わないと判断。持続性を重視しようと、自治会による自主運行を選択し た。よって、ガソリン代、車両保険代、運転手への謝礼などの運営費は自治会費で がそりんだい しゃりょうほけんだい うんてんしゅ しゃれい うんえいひ じち かいひ 負担、運転手は地域のボランティアとしている。初期費用は約160万円(車両 ふたん うんてんしゅ ちいき ぼらんていあ しよき ひよう やく まんえん しゃりょう 購入費)、維持費用は約133万円である。</p>
<p>けんしょう 検証</p>	<p>がいどう だんち じゅうみん よろこ じゅうみんがい ひと じょうしゃ だれ ○該当する団地の住民からは喜ばれるが、住民以外の人に乗車できないため、誰もが そと で そと で しゅし はず 外に出やすい、外に出たくなるようなものという趣旨から外れてしまう。</p>

<p>めいしょう 名称</p>	<p>たかいしちく こみゆにていばす やま ごう かながわけんかわさきしあさおく 高石地区におけるコミュニティバス「山ゆり号」(神奈川県川崎市麻生区)</p>
<p>はいけい がいよう 背景・概要</p>	<p>さか おお ちいきこうつう ひんじやく たかいしちく ちいきじゅうみん あさおく ・坂が多く地域交通が貧弱であった高石地区において、地域住民で「麻生区 こみゆにていばすきょうぎかい ほっそく こみゆにていばすどうにゆう けんとう かいし やくねん コミュニティバス協議会」が発足し、コミュニティバス導入について検討を開始。約7年の けんとう すえ しこうらんでん へ へいせい ねん がつついたち うんこう かいし ひよう ひこうかい 検討の末、試行運転を経て、平成23年9月1日に運行が開始された。費用は非公開。</p> <p>うんこうしゅたい かぶしがいいしやたかはししょうじ こうつうじぎょうや かながわけんばすきょうかりかいいん 運行主体：株式会社高橋商事(交通事業者、神奈川県バス協会会員) うんこうしゃりょう だい じよきやくていいん めい 運行車両：1台(乗客定員9名) うんこうほんすう ほん にち おうふくごうけい ほん にち へいじつうんこう どにちしゅくじつうんきゅう 運行本数：12本/日(往復合計24本/日)の平日運行(土日祝日運休) うんこうじかん たかいしだんちまえはつ たかいしだんちまえちやく やく ぶんかんかく 運行時間：9:35(高石団地前発)～18:13(高石団地前着)の約30分間隔 うん ちん おとな えん こ えん こうれいしや しょうがいしや えん 運賃：大人300円、子ども100円、高齢者・障害者200円</p>
<p>けんしょう 検証</p>	<p>ちいきこうつう もんだい かか ちいき こうつう きょうぎかい ほっそく すいしん ○地域交通の問題を抱えている地域が交通まちづくり協議会を発足し推進していくこと ひつよう が必要である。</p>